

令和8年1月吉日

各 位

公益財団法人日本刀文化振興協会

理事長 大野 義光

第16回「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」

運営委員長 宮入小左衛門行平

第16回「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」開催のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は公益財団法人日本刀文化振興協会（刀文協）の活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、刀文協では新年度の公益目的事業として、当協会のほか長野県坂城町および坂城町鉄の展示館との主催により、下記の通り第16回「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」を開催いたします。

本展は、大臣賞をはじめとする各賞により優れた作品を顕彰する「コンクール形式」とするとともに、会員・非会員を問わず日本刀製作に携わるすべての職方の皆さまの成果を広く一般に公開し、日本刀文化の一層の振興を図るものであります。

ご案内をご精読のうえ、皆様には奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。今回も充実した作品のご出品を期待しております。

なお、本ご案内は広報のため刀職者以外の方にもお送りしております。

※今回も、作刀・刀身彫刻／研磨／刀装の3部門に加え、特別公開部門として“Sword Oshigata Art” 部門を設けます。詳細は別途ご案内をご覧ください。

敬 具

記

1. 趣 旨

- ① 公募によるコンクールとして、新たな基準に基づく厳正な評価を通じ、日本刀に関わるすべての技術水準の向上を図り、斯界の人材育成に資する。
- ② 成果を展覧会として一般に公開し、総合工芸品としての日本刀および日本刀文化への理解を深めてもらう。また海外へ向けても情報発信を行い、現代の日本刀・刀職技術を広くアピールする。
- ③ 刀文協の恒例公益事業として、作家・職方の登竜門となるとともに、新たな伝統を蓄積していく権威ある総合展覧会とする。

2. 名称 第16回 新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会（以下「第16回展」）

3. 会 場 及び会 期

会場：坂城町 鉄の展示館

〒389-0601 長野県埴科郡坂城町坂城6313-2

会期：令和8年6月6日（土）～8月30日（日）

※授賞式・懇親会は開催初日を予定

4. 部 門 作刀・刀身彫刻／研磨／刀装の3部門
5. 分 野 作刀・刀身彫刻・研磨・鐔（その他刀装具）・白銀（鑓その他金具）・白鞘・拵下地・柄巻き・鞘塗り・拵
6. 後 援（予定） 関係官庁をはじめ他数機関に申請予定。
7. 授 賞（予定）
 - 特別賞
 - 大臣賞（全部門最高賞及び作刀・刀身彫刻部門）※申請予定
 - 長野県知事賞（作刀・刀身彫刻部門）
 - 信濃毎日新聞社賞（研磨部門）
 - 坂城町町長賞（刀装部門）
 - 坂城町教育委員会教育長賞（刀装部門）
 - 日本刀文化振興協会会长賞（全部門）
 - 一般賞
 - 技術奨励賞・新人賞・功労賞
 - 金賞・銀賞・銅賞・入選

8. 第16回展応募の留意事項

《共通事項》

- ① 新作日本刀を含む刀身を伴う作品には、銃砲刀剣類登録証原本を添付し、所定の諸規程に準拠していること。
- ② 本展は公募により作品を募り、コンクールおよび展覧会を併せて開催する。審査申込資格は会員・非会員、国内外を問わない。ただし作刀は有資格者に限る。
- ③ 審査申込は本展の趣旨に沿うものであること。
- ④ 自身が製作または研磨・施彫した作品であること。ただし刀装部門の拵は別途定める。作刀および鐔（その他刀装具）は作者銘を有すること。
- ⑤ 未発表作品であること。ただし諸工作終了後1年以内のものを可とする。
- ⑥ 応募は1分野につき1人1作品とする。複数分野への申込は妨げないが、同一作品を複数分野に充てることは不可。ただし新作刀は1点で作刀・研磨両分野への申込を可とする。
- ⑦ 入選以上の作品は会期中「坂城町 鉄の展示館」にて展示する。
- ⑧ 出品料は1分野につき15,000円（保険料・展示費用・運搬費等含む）。ただし刀文協会員は10,000円。

《作刀》

- ① 美術刀剣類製作承認を受けた刀匠の作品であること。
- ② 古来より踏襲されてきた素材・技法によること。
- ③ 美術刀剣としてふさわしい研磨が施されていること。
- ④ 作風評価にあたっては独創性と個性を重視する。
- ⑤ 「写し物」は製作意図を精査し、優れた作品は評価対象とする。
- ⑥ 太刀・刀・脇指・短刀の区別なく、出来本位で評価する。
- ⑦ 製作承認後間もない申込者の作品を奨励し、承認後3年以内を目安に「新人賞」等を考慮する。
- ⑧ 登録取得後1年以内の作品であること。

《刀身彫刻》

- ① 研磨が適切に施されていること。

《研磨》

- ① 国宝・重要文化財・重要美術品の出品は不可。
- ② 美術刀剣にふさわしい研磨であること。

《白銀(鍔その他金具)》

- ① 家紋鍔は着せが望ましい。

《鞘塗り》

- ① 鞘のみではなく、完成した拵として申込むこと。

《拵》

- ① 自ら立案・監修し、作業工程の一部に参画した作品であること（純粋なコーディネートのみは不可）。
- ② 古い刀装具を用いる場合、拵全体をその時代に合わせ、時代考証を明確にすることが望ましい。

《刀装具》

- ① 「写し物」は製作意図を精査し、優れた作品は評価する。

9. 審査申込手続き

- ① 別紙「出品・審査申込書」に必要事項を記入のうえ、3月16日（月）までにFAXまたはメール添付にて送付すること。申込者には3月末～4月初旬に出品票・出品料振込用紙を送付する。
- ② 所定の出品票等が添付されていない場合、受け付けられないことがある。

10. 作品受付 令和8年4月11日（土）～12日（日）の2日間

坂城町 鉄の展示館

午前10時～午後4時

※送付による受付も可。ただし、上記期間内必着・「時間指定なし」で送付のこと。

11. 審 査 令和8年4月15日（水）～17日（金）の3日間

12. その他 審査申込全作品は図録に掲載致します。〈但し、入選外を除く〉

以 上

※詳細はホームページ等で逐次公表します。または、事務局にお問い合わせください。

公益財団法人日本刀文化振興協会 事務局

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-4-7 鷹匠ハイツ301号

<http://www.nbsk-jp.org/> 電話03(5249)4440 FAX03(5249)0065 E-MAIL tbk@nbsk-jp.org